

資料1 転作補助事業の実態
《笠間高日向国庫補助事業》



北側



西側通路入り口



《市補助事業》



川根町・市尾



川根町・塩本

資料2 荒廃茶園の復興



隣接・荒廃して1年



荒廃3年を復興（3年目）西側まくら地



東側まくら地

事業費の比較

(農家自身で実施)

雇人費	12,000円×4日	48,000円
ダンプ借り上げ料	10,000円×4日	40,000円
ユンボ借り上げ料	15,000円×4日	60,000円
草取り・裾刈り	12,000円×8日	96,000円
中切り	12,000円×8日	96,000円
伐根茶樹処分	12,000円×4日	48,000円
合計	388, 000円	97, 000円/10a

(改植公団に発注の場合) (これまでの委託費から推定)

裾刈り・中切り	150,000円/10aあたり×4	600,000円
まくら地開設	4,000円×80m	320,000円
合計	920, 000円	230, 000円

資料 3 農地中間管理機構の実態

西原地区

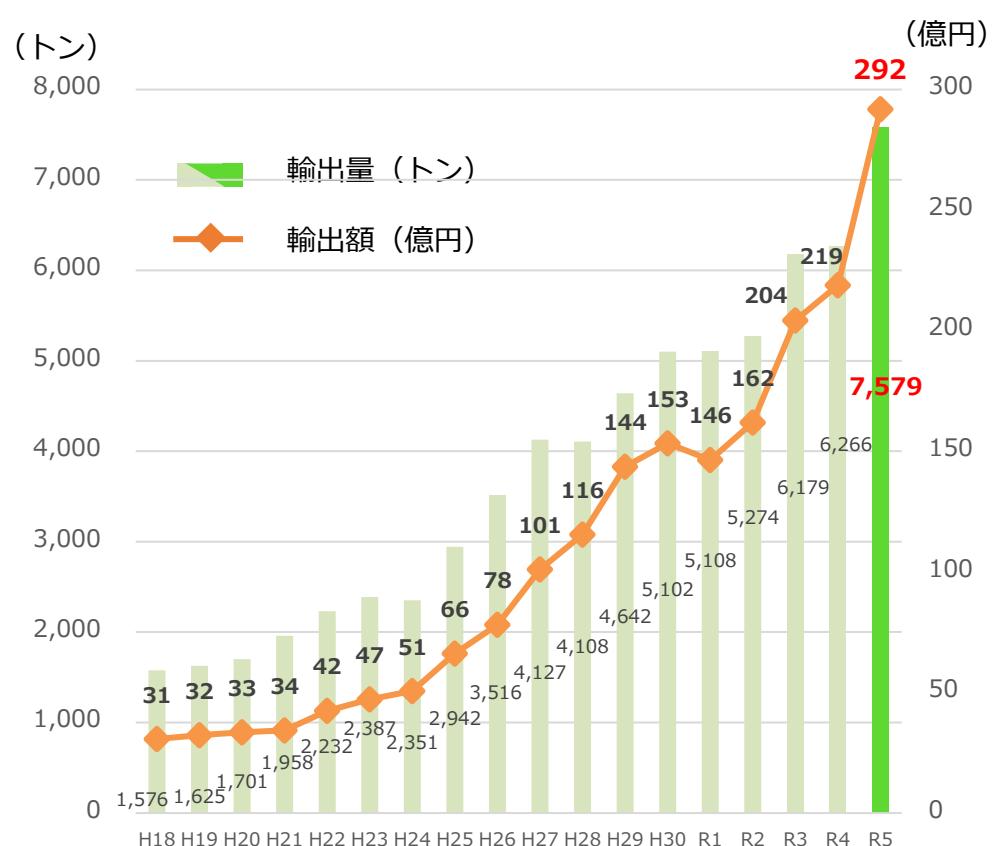


17. お茶の輸出実績

令和6年6月定例会 13番 ハ木伸雄 資料4

- 令和5年の緑茶の輸出額は292億円。健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、抹茶を含む粉末茶の需要が拡大し、過去最高額となった。

【緑茶の輸出実績（世界）】

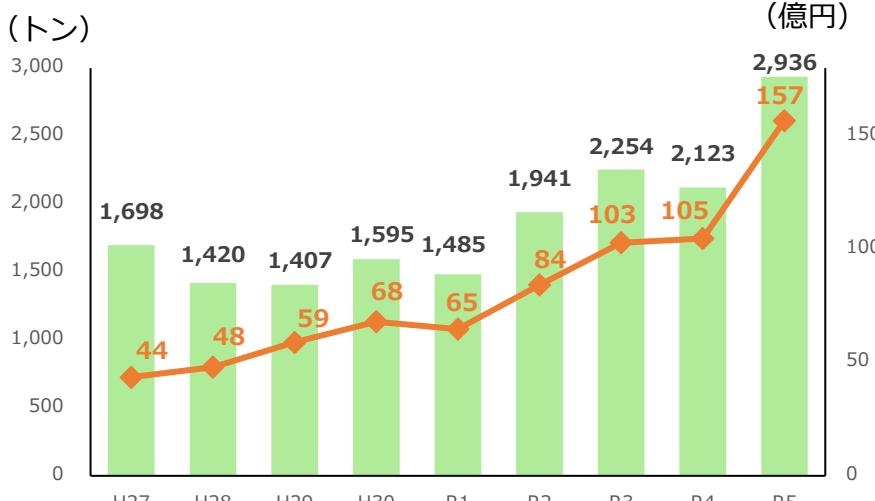


【緑茶の輸出価格の推移】

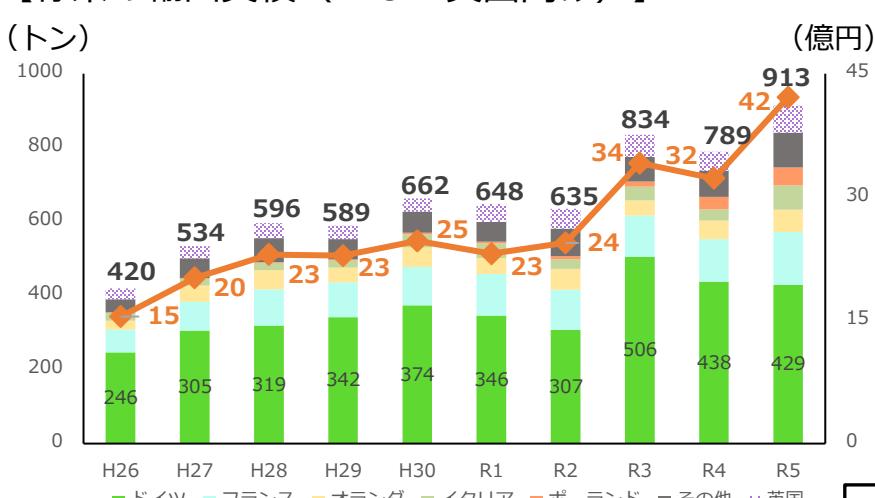
単位：円/kg

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
2,812	3,093	3,005	2,867	3,069	3,304	3,494	3,851

【緑茶の輸出実績（米国向け）】



【緑茶の輸出実績（EU・英国向け）】



資料：財務省貿易統計